

令和2年度摂津市学力定着度調査と令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について

昨年度からの学力調査についてご報告いたします。さらに詳細な報告は近日中にホームページに掲載する予定です。

◎「摂津市学力定着度調査」の結果について

【これは2年前、令和元年度の結果です】(2019.12実施)

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
鳥北小平均	66.5	73.5	80.9	74	69.1	73.3	72.6	72.9	68.9	67.2	63.9	73.5
摂津市平均	70	76.2	78.4	70.7	68.3	65.8	72.7	71.9	69.3	62.4	62.7	72.6
全国平均	72.5	81.1	83.2	76.6	72.4	70.4	75.4	68.5	72.8	60.6	69.2	73.9

太枠 **■** は全国の平均を超えた学年・教科です。→3年(今の5年)、4年(今の6年)、5年(今の中1)の算数
 点線枠 **⋯** は全国は超えなかったけれども摂津市平均を超えた学年・教科です。

→2年(今の4年)の国・算、3年(今の5年)の国、6年(今の中1)の国・算

この前年、平成30年度の6年生(現中3)が初めて算数で全国平均を上回ったのに続き、3つの学年が算数で健闘しましたが、国語はどうしても全国平均に届きませんでした。



下が昨年度の結果です。

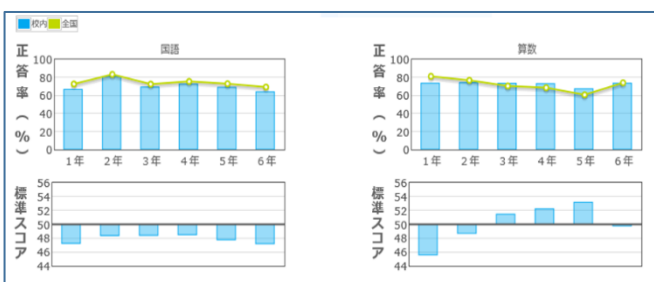
【令和2年度】「摂津市学力定着度調査」の結果(2021年1月20日実施)

	1年		2年		3年		4年		5年		6年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
鳥北小平均	66.2	78.3	61.2	61.6	65.3	70.9	71.6	80.1	66.5	64.8	67.9	79.1
摂津市平均	72.3	81.6	71.2	71.1	62.3	70.8	66.7	67.8	64.8	65.5	66.1	73.6
全国平均	72.3	80.7	75.6	73.9	63	68	66.5	63.3	67.1	63.5	67.1	68.5

3年(現4年)、4年(現5年)、6年(現中1)が国語と算数の両方で全国平均を超えました。
 5年(現6年)は算数で全国を超えましたが、国語はわずかに届きませんでした。摂津市平均は超えています。
 (国語の1年、4年、算数の1年、3年、4年、5年、6年は摂津市平均が全国平均を上回っています)

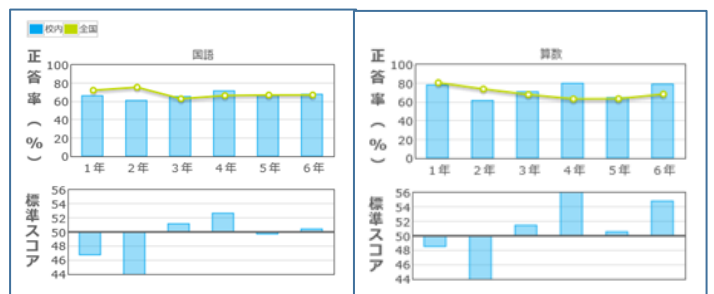
下の「標準スコア」のグラフは、真ん中の50を全国平均とした時の学年別のグラフです。

R元年度

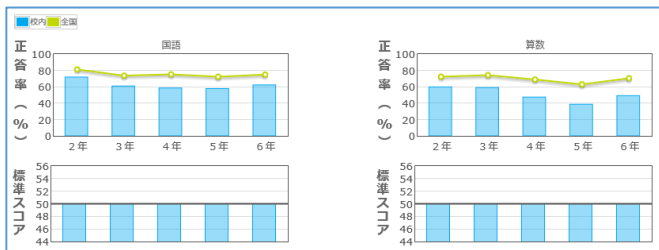


↑
国語がすべて下回っている。

R2年度



↑
記録が残る北小史上初、国語で上回る学年が出て来ました。
算数では4年(現5年)、6年(現中1)が大きく伸びています。

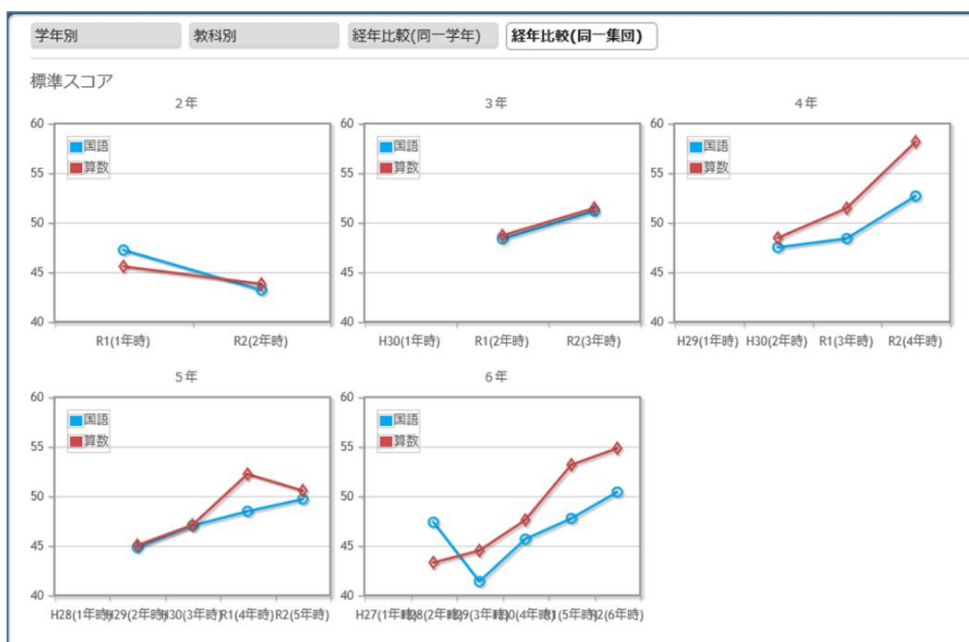


ちなみに、左はこの調査が始まった頃のある年のグラフです。※この摂津市学力定着度調査は、全国学力調査のようにすべての学校が参加しているわけではありませんが、大手の東京書籍が実施する全国規模のテストですので、一定の水準にあるものと考えられます。

※3年前より算数で全国平均を上回る学年が出てきましたが、国語はなかなか到達しませんでした。しかし、徐々に近づいて

きていて、ついに昨年度、初めて国語で全国平均を上回る学年が3つ出てきたことは、語彙指導や文章を書いたり、発表したりする言語活動を重視した、直前対策だけでは身に着かない、真の「地力」をつけるための日々の授業改善が成果を見せて来たものと考えています。また、「記述式」の問題が複数の学年で全国や大阪府より上回っています。「無答率」も低くなっています。日頃の授業での取り組みにより、「書く」こと自体への抵抗は低くなっています。

◎下記グラフをご覧ください。これは「同一集団」の経年比較を表したグラフです。真ん中の50が全国平均です。



「同一集団」とは、例えば4年生が2年・3年生の時にどうだったかを表しています。

6年生(今の中1)のグラフを見ると、3年生の時に対全国比40近いところに位置していた成績が、4→5→6年生へと目覚ましく伸びていることがわかります。

同様に3年生(現4年生)以上は、皆、学年が上がるごとに『右肩上がり』で伸びていることがわかります。

言い換えると「去年の自分たちに勝っている」と言えます。

現2年生、3年生も今後向上していく可能性を秘めていると言えます。

◎学力調査の結果の捉え方について

改めて確認しますが、学力調査(テスト)の結果だけが、一人の人間が持つ学力を表しているわけではありません。人間というものもつと懐が深い存在です。また当然、「学力」と言われるものが人間の存在価値を決めるわけでもありません。ただ、これらの調査は、これから生きていくうえで必要とされる力の一面を切り取っています。またこれらの力は、子どもたちのこれからの進路を切り拓いていく一つの武器となるものです。さらにこれらの力は頑張れば伸びる要素があります。

もちろん人間には得手不得手があります。運動能力でも絵画や音楽のセンスも人によってさまざまで、それは一つの個性です。ただ、「平均点」というのは集団の頑張りを表します。たとえば全国平均が60だとすると20点の子ががっかりしなければならないかという決してそうではなく、20点の子は21点を目指して欲しいのです。80点の子が81点に、50点の子が51点に、そして20点の子が21点に、全員が1点上れば、北小全体の平均点は1点上がるのです。

平均点は自分の位置を判断する指標です。集団単位ではスポーツのように勝負心を持つべきだと思います。みんなで頑張ろうという空気が大切です。しかし、個人では平均点そのものと勝負するのではなく、

テーマは、『去年の自分に勝て!』そして『昨日の自分に勝て!』ということだと考えています。

鳥飼北小学校ではどの学年の子も、なかよし学級の子も、スマイル教室の子も、日本語教室の子も、皆、それぞれ今の自分の力を伸ばすために前を向いて頑張っています。

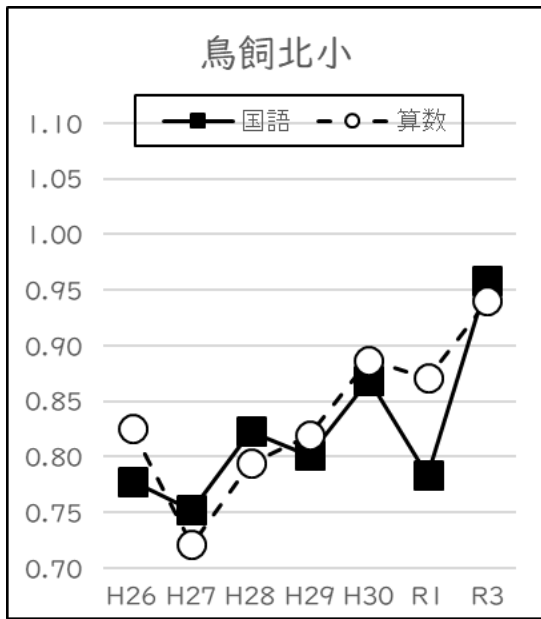
◎現在、『キタツピクエスト』&『天下一自学大会』実施中!!

今年度の摂津市学力定着度調査は、12月8日(水)に実施されます。鳥飼北小学校では11月より恒例の「天下一自学大会」が始まりました。まず前半戦は、『キタツピクエスト』を実施中です。11月19日(金)に、全学年一斉漢字テストを行います。今の学年より一つ下の学年の漢字から出題します。キタツピクエストは、キタツピと一緒に勇者になって漢字の問題を解くことで悪者を倒していくという設定の取り組みです。自学ノートは自主勉をすればするほどポイントがたまります。

◎令和3年度「全国学力・学習状況調査」の結果 (今年の4月20日に日本中の6年生が受検したものです)

	国語		算数	
	正答数	正答率	正答数	正答率
全国	9.1問/14問中	64.7%	11.2問/16問中	70.2%
大阪府	8.8問/14問中	63%	11.2問/16問中	70%
摂津市	9.0問/14問中	64%	10.7問/16問中	67%
北小6年	8.7問/14問中	62%	10.5問/16問中	66%

* 微細なランキングを避けるため全国以外は小数点以下が切られています。
 * R1以前は、国語、算数とも基本A問題と活用B問題に分かれていましたが、便宜上AとBの平均でグラフを作成しています。



* 左は経年のグラフです。全国を1としての対全国比を表しています。今年度は国語が0.96、算数が0.94です。

* R2年度は新型コロナウイルスにより中止されました。現中1は、5年時より楽しみに準備していたので、とても残念でした。我々の予測値は1.0でした。

* 全国学力調査は、定着度調査と違って、シンプルな基本問題がほとんどなく、非常に情報量の多い文章や図表・グラフ等の資料から活用力や表現力を問う問題が出されます。なので基本的問題をクリア出来ても、この全国調査にはなかなか太刀打ちできないのが北小の大きな課題でした。そういう意味では今年の6年生はとても頑張っただけ健闘したと言えます。特に「記述式」の問題は全国平均を超え、「無答率」も全体的に低いです。しかし、まだ全国や摂津市平均には届いていません。このようなたくさんの資料からすばやく必要な情報を取り出す読解力(リーディングスキル)が今後の課題です。

* しかし、上の表の「正答数」をご覧ください。今回の結果よりも、全員が、「あと1問」上乗せすることが出来れば、簡単に全国平均を上回ることが出来ます。

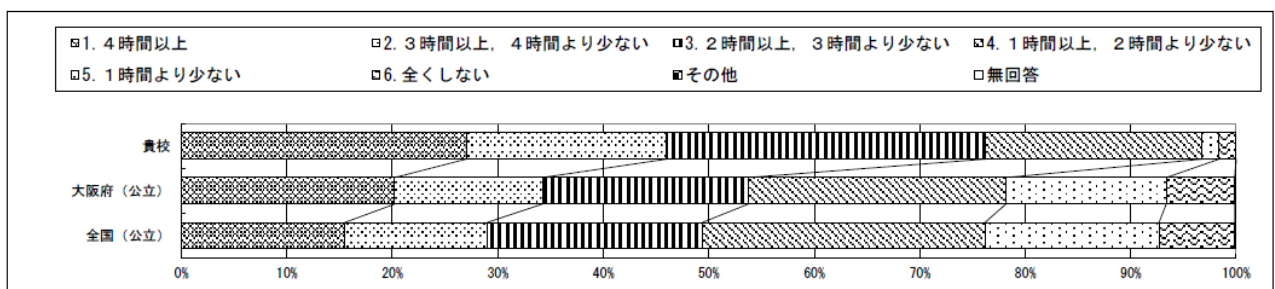
※今回見られた、顕著な課題をまとめます。

- ① 数多い情報の中から、問われている内容、つまり必要な情報を取り出して、それを要約してまとめること
- ② 算数において式の意味や単位の意味を押さえながら説明できること
- ③ 漢字は頑張っているが、テストで解答できるほどには定着していない。今回出なかったがローマ字も毎年大きく下回る。
- ④ いつもなら出来るはずの問題を、早とちりや勘違い、思い込みで多数取りこぼしている。

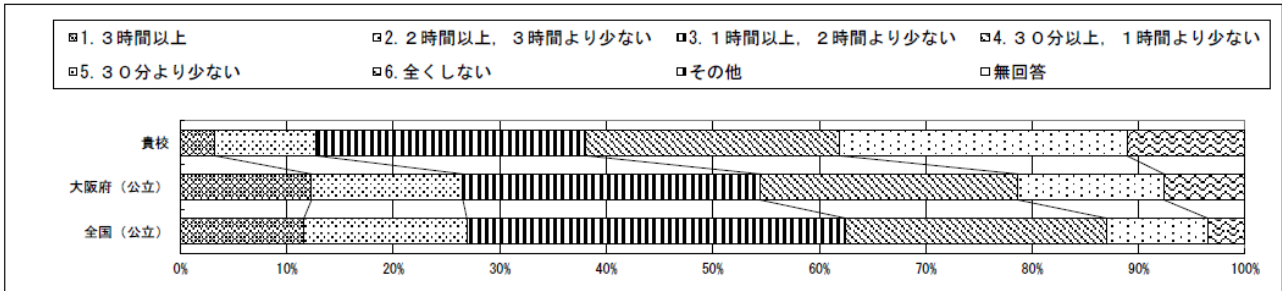
* 鳥飼北小学校では、国語や算数で指導方法の基本形を統一しています。言葉で説明することを重視しています。書いたり、話し合ったり、発表したり、すべて言語活動です。(近日中にHP版でもう少し詳しく説明いたします)

◎学習状況調査の「児童質問紙」について 全国との差が大きく、課題が顕著に見られる項目を厳選して取り上げます。

質問番号	質問事項										
(5)	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	27.0	19.0	30.2	20.6	1.6	1.6				0.0	0.0
大阪府(公立)	20.2	14.0	19.5	24.4	15.2	6.5				0.0	0.1
全国(公立)	15.5	13.5	20.4	26.8	16.5	7.2				0.0	0.1



質問番号	質問事項										
(18)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	3.2	9.5	25.4	23.8	27.0	11.1				0.0	0.0
大阪府（公立）	12.3	14.2	27.9	24.2	13.7	7.6				0.0	0.0
全国（公立）	11.6	15.3	35.6	24.5	9.5	3.5				0.0	0.0

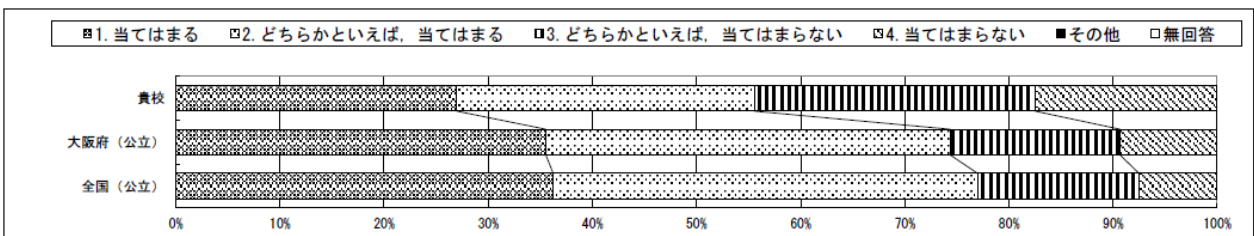


* ゲームの時間、学習時間に大きな課題があります。

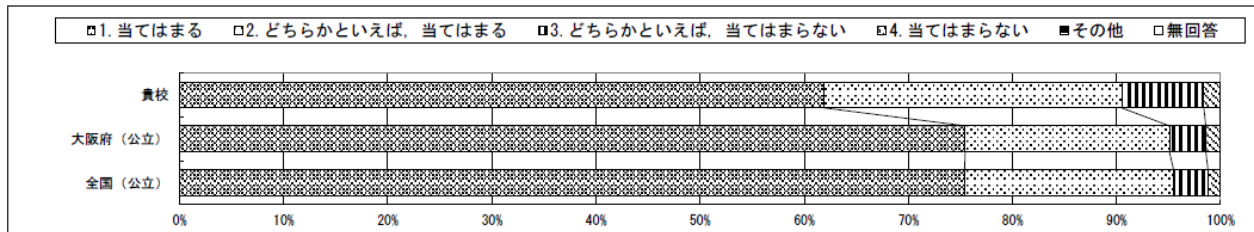
ただし、一点、宿題に関しては、本校では「放課後しゅくだいタイム」を、水曜日以外のほぼ毎日、終わりの会の後、全クラスとなかよし教室、スマイル教室で行っています。希望者は30分程度教室で宿題が出来ます。なので宿題を学校で済ます子はたくさんいます。ただ、宿題に加えて「自主学習」を薦めています。

目の前に「テスト」が、「試合」が、「発表会」がある時に、日頃頑張っている訓練の成果を発揮出来る人間になって欲しいと願っています。テスト前の心構えは中学生になった時に重要な要素です。昔から中学1年生が初めての中テストの前に「先生、何勉強すんの？」と質問に来たものです。そこは天下一自学大会等を通じて北小の子どもたちは学んできているように思います。しかし、それも日頃の鍛錬、習慣があつてのものです。テスト前以外の地道な学習習慣がとても大切だと自覚して欲しいと思います。

質問番号	質問事項										
(6)	自分には、よいところがあると思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	27.0	28.6	27.0	17.5						0.0	0.0
大阪府（公立）	35.5	38.8	16.3	9.3						0.0	0.0
全国（公立）	36.2	40.7	15.5	7.5						0.0	0.0



質問番号	質問事項										
(12)	人の役に立つ人間になりたいと思いますか										
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	8	9	その他	無回答
貴校	61.9	28.6	7.9	1.6						0.0	0.0
大阪府（公立）	75.4	19.6	3.5	1.4						0.0	0.0
全国（公立）	75.4	20.1	3.3	1.2						0.0	0.0



* 一時向上が見られた「自尊感情」「自己肯定感」が現6年生では再び下がっています。上記の摂津市学力定着度調査や今回の全国学力・学習状況調査も踏まえて、自分たちもやれば出来るんだという自信をもっと持って欲しいです。

「自尊感情」や「社会参画意識」が高まることは、人生そのものに前向きになるということで、学習意欲にも直結します。ただ、この調査の4月以降、ここまで6年生は大きく成長しています。自分の意見もしっかり話せるようになっていき、友だち同士の絆やよりよい集団を作ろうという意識も高まり、あらゆるところで積極性が見られるようになってきました。学校教育目標の『一人ひとりがいきいきと輝く学校』に近づいています。今後のさらなる飛躍に期待したいと思います。